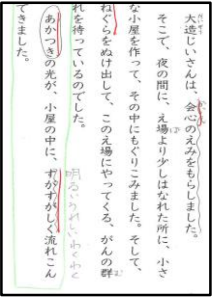
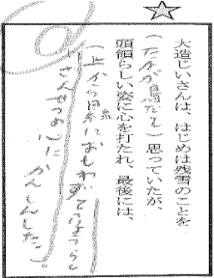
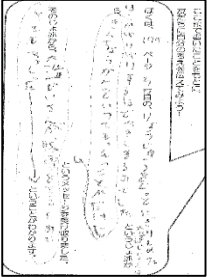


<p>小学校名 呉市立昭和西小学校</p>	<p>指導者名</p>
<p>学年 第5学年 教科等 国語科</p>	
<p>単元・内容 棕鳩十から受け取ったメッセージを交流しよう「大造じいさんとがん」</p>	
<p>検索キーワード 初めと終わりの心情の変化を読み取ることができない 複数の叙述を関連付けて読み取ることができない</p>	
<p>○ 児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の心情が変化した理由を、直近の叙述や直接表現のみに着目して解答しており、複数の叙述を結び付けて読み取ることには課題がある。</li> </ul> <p>○ ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直近の叙述だけでなく、場面をまたいだ複数の叙述を関連付けて心情の変化を考えることができる。</li> <li>描写にも着目して大造じいさんの気持ちを読み取り、感じたことや考えたことをまとめることができる。</li> </ul> <p>○ 手立て</p> <p>① 本文に、登場人物ごとや情景描写などで色分けしたサイドラインを引かせ、物語全体を通した登場人物の様子を捉えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大造じいさんに関する叙述には赤、残雪に関する叙述は青、情景描写は緑で色分けすることで、場面の移り変わりと共に言動や様子に変化していくことを視覚的に捉えやすくした。</li> </ul>  <p>② 物語全体を捉えた一文要約のワークシートにより、心情の変化を捉えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>物語の初めと終わりの大造じいさんの様子や心情を書き出し、物語全体を通して変化したことをつかませた。さらに、なぜそうなったのかを考えさせることで、複数の叙述を基に変化の要因をつかませた。</li> </ul>  <p>③ 表現の効果について考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>心情を表している暗示性の高い叙述を取り上げ、色やにおい等から、どのような印象をもつか、それは何を表しているのかを考えさせる。そのことにより、間接的な心情表現を手がかりとした心情の把握について学ばせた。</li> </ul>  <p>○ 児童の変容</p> <p>ワークシートを活用し、物語を一文要約することで、大造じいさんの心情の変化を捉えることができた。心情の変化を捉える際、直近の叙述のみではなく、物語全体から、根拠となる叙述を関連させて考えることができるようになった。</p> <p>また、同じ叙述からでも、読む人によって様々な作者のメッセージを読み取ることができるなど、叙述の様々な解釈の仕方について意識するようになった。</p>	